

オスプレイ配備撤回を

横 基地の撤去を

国や米軍に働きかけよ

共産党都議団が

知事に要求



今年3月5日に横田に飛来したオスプレイ

日本共産党東京都議団は3月都議会会で、米軍横田基地の撤去と、特殊作戦機オスプレイCV22の配備撤回を、国と米軍に働きかけるべきだと求めました。

都議団は基地の整理、縮小、返還を求めてきた都の基本姿勢をどう継承するか小池知事に質問。小池知事は「今後も引き続き、整理、縮小、返還に向けて取り組んでいく」と答えました。

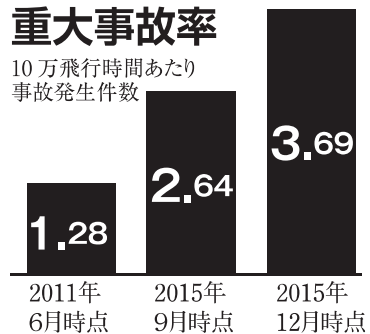
都の姿勢は緊張感も
真剣さも欠く

また、オスプレイ配備の重大性を告発。墜落など重大事故が増えていること(上グラフ参照)を示し、オスプレイの危険性を国にただしているのかと聞きました。都の担当者は「国からは安全だと聞いている」と、無責任な答弁を繰り返しました。

都議団は、沖縄県名護市で昨年末起きたオスプレイの墜落事故の原因を、国もわかっておらず、安全性が確認されたとは言えないと指摘。沖縄、佐賀両県が国に再三質問書を出していることなど比べ、都の姿勢は「緊張感も真剣さも大きく不足している」と批判。配備撤回を働きかけるよう強く求めました

増えるオスプレイの重大事故率

10万飛行時間あたり
事故発生件数



都民の安全を守る都政に

横田基地に配備されるオスプレイは特殊作戦用で、危険きわまりない超低空飛行訓練や、夜間飛行訓練を繰り返し行うものです。都民はもちろん、日本全国民を墜落等の危険で脅かすオスプレイの横田基地配備を撤回させましょつ。



都議会議員 (江東区選出)

あぜがみ みわこ

あぜ上三和子

日本共産党

東京民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2017年4月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社 (港区芝 1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可